

比叡山延暦寺ができた頃、この地に荼枳尼天（吒枳尼天）が白雪の神狐の姿となってあらわれ、人々の罪や穢れを祓い浄め、福德を与えたと言い伝えられている。このお社は故事に則って荼枳尼天（吒枳尼天）を本尊としてお祀りしている。荼枳尼天（吒枳尼天）は豊穰を司る神である大黒天の眷属ともされる。鬼女の一種でもあり、のちに神仏習合により農耕神である稻荷信仰と一体化する。諸願成就の靈験が著しいことでも知られ、公家による信仰が篤かった。立身出世や商売繁盛、家運隆昌などを願う人の参拝が絶えない。このお社の御朱印は文殊楼で受けられる。